

学力の向上

当初予算主要事業 教育委員会 4、5、11、12頁【予算額 合計 1,503,344千円】

学力向上推進プロジェクトチーム(224-2931) 小中学校教育課(224-2963)
研修推進課(226-3572) 研修企画・支援課(226-3428) 教職員課(224-2958)

学校では、全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの3点セット等の年間を通じた計画的な活用や教育支援事務所を中心としたオーダーメイドの支援等を通して、子どもたちが学習内容を確実に理解・定着できるよう、組織的な授業改善等の取組を進めます。また、子どもたちの生活習慣・学習習慣・読書習慣を確立できるよう、学校・家庭・地域が一体となった取組を進めます。

授業力の向上

学力向上支援事業

【予算額:32,702千円】

・全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの3点セット等の年間を通じた計画的な活用など、PDCAサイクルによる早期からの授業改善等により、子どもの達成感、学習意欲を向上



少人数教育推進事業

【予算額:1,424,299千円】

- ・小学校1年生の30人学級(下限25人)(定数25人)
- ・小学校2年生の30人学級(下限25人)と36人以上学級の解消(定数80人)
- ・中学校1年生の35人学級(下限25人)(定数55人、非常勤30人)*実情に応じて2,3年生への振替可
- ・チーム・ティーチングや習熟度別指導などの少人数指導のための教員配置(定数52人、非常勤213人)
- ・これまでの実践推進校での少人数指導の取組をふまえ、効果的な少人数教育を推進

小中学校指導運営費【予算額:3,947千円】

～教育支援事務所による支援～

- ・小規模な市町教育委員会に対し、教育支援事務所(県内3か所)が学力向上に係るオーダーメイドの支援を行う

教職員研修事業

【予算額:31,829千円】

- ・「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」をふまえ、教科や領域、今日的な教育課題等に対応する研修を実施し、教職員の授業力や専門性の向上を図る

地域の教育力の向上

三重県型コミュニティ・スクール構築事業

【予算額:10,371千円】

- 三重県型コミュニティ・スクール
 - ・地域住民等が学校運営や教育活動に参画・協働する仕組みを拡充
 - ・学校や地域の事情に応じた多様な取組をサポート
- 学校支援地域本部
 - ・地域のボランティア等が学校の教育活動を支援する取組を14市町で実施
 - ・学習支援を行う地域未来塾を10市町で実施

みえの学力向上県民運動

みえの学力向上県民運動推進事業

【予算額:196千円】

- ・みえの学力向上県民運動推進会議の開催による取組の総括
- ・生活習慣・読書習慣チェックシートの実施による改善
- ・県内イベントの活用により、県民運動の周知・啓発を一層図る

グローバル人材の育成

当初予算主要事業 教育委員会 5、6、12、15頁【予算額 合計 204,758千円】

高校教育課(224-3002)、小中学校教育課(224-2963)、教育政策課(224-2951)

サミットの資産を次世代に継承していくため、子どもたちが自らの考えを伝え、自らのアイデンティティを持ちながら異なる文化・伝統に立脚する人々と協働したり、海外に触れる機会を提供し、外国語で積極的にコミュニケーションを図る力や、地域の課題や特色ある産業を通じて、実社会での実践活動に取り組むことで、他者と協働する力や自己と社会の関わりを深く考える力など、これからの社会の変化に対応できる力を育みます。

主体性 (Independence)

さまざまな課題に対して自ら考え挑戦し、未来を切り拓いていく力

共育力 (Mutual-growth)

郷土への愛着と誇りを持ち、異なる文化・伝統に立脚する人々と共生・協働する力

語学力 (English)

国際的共通語である「英語」によりコミュニケーションを図り行動する力

世界でも地域でも活躍できる人材の育成

(新)地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業 【予算額 28,894千円】

- ・実践パイロット校を指定し、高校生が地域の課題や産業等を題材にした新しいキャリア教育モデルを展開
- ・地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことを通し、さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働する力や、自己と社会の関わりを深く考える力など、これからの社会の変化に対応する力を育成
- ・学校と地域をつなぐコーディネーターを配置
- ・地域関係者、有識者等で構成する推進委員会を設置し、実践パイロット校の成果や課題を検証、改善

未来を拓く職業人育成事業 【予算額 12,617千円】

- ・県内外の高校生が地域と未来について共に考える「高校生地域創造サミット」の開催
- ・地域や企業と連携した高校生による地域活性化プランの考案・実践
- ・企業との連携による商品開発等、みえの食を担う高校生の育成

(一部新)未来へつなぐキャリア教育推進事業 【予算額 26,397千円】

- ・地域で活躍する職業人による出前授業
- ・地域の事業所と連携したインターンシップ等
- ・外部人材を活用した就職支援・職場定着支援
- ・外国人生徒へのキャリアサポート（外国人生徒キャリアサポーターの配置、企業見学会の実施、日本での就職等にかかるセミナーの実施、通訳用タブレットを県立高等学校2校で活用）

「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業 【予算額 28,030千円】

- ・先進的で卓越した取組に挑戦する学校への支援
- ・海外インターンシップの実施
- ・すべての県立農業高等学校(5校)でGAP教育を推進
- ・伊賀白鳳高等学校の実習設備の整備

世界へはばたく高校生育成支援事業 【予算額 13,847千円】

- ・みえ科学探究フォーラムの開催
- ・みえ未来人育成塾の開催
- ・国際科学技術コンテストへのチャレンジ支援
- ・高校生の留学支援と成果の生徒への還元

(一部新)就学前教育の質向上事業 【予算額 1,096千円】

- ・専門家を市町等に派遣し、研修会や公開保育等を通じて効果的な指導方法の助言
- ・「三重県保幼小の円滑な接続のための手引き」の普及

三重の英語教育改革加速事業

【予算額 810千円】

- ・モデル校を指定した小学校英語の評価方法の実践研究
- ・郷土の魅力を英語で発信するワン・ペーパー・コンテストの開催

- 【英語先行実施に向けた対応】
- ・小学校英語専科指導教員定数 14人(見込み)
- ・小学校英語指導対応非常勤(週8時間) 173人

四日市工業高等学校
ものづくり創造専攻科

専攻科整備事業

【予算額 93,067千円】

- ・実習設備の整備



(先端工作機械を用いた実習)

伊賀白鳳高等学校建築デザイン科
(平成31年4月改編)

「工芸デザイン科」を「建築デザイン科」に改編し、建築・インテリアコース、デザインコースを設置



・CAN-DOリストを活用した英語教育改善



特別支援教育の推進

当初予算主要事業 教育委員会 9、12頁 【予算額 合計 36,342千円】
特別支援教育課(224-2961)、研修推進課(226-3572)

インクルーシブ教育の理念をふまえ、医療や福祉等の関係機関と連携し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するため、三重県特別支援教育推進基本計画に基づき、早期からの一貫した支援体制の充実や障がいのある子どもたちの自立と社会参画に向けた取組を進めます。また、教員の専門性の向上を図るとともに、新たに高等学校における通級指導を行います。

特別支援教育の推進

◇(一部新) 早期からの一貫した教育支援体制整備事業

[予算額 23,211千円]

○早期からの一貫した教育支援体制を整備

- ・ パーソナルカルテの活用促進
- ・ 発達障がい支援員3名による高等学校への巡回相談および支援情報の円滑な引継ぎの充実
- ・ 通級指導担当教員等の専門性の向上
- ・ 特別支援学校のセンター的機能による支援
- ・ 市町教育委員会と連携した就学支援
- ・ 発達障がいのある児童生徒への教科指導法の研究・開発
- ・ 特別支援学校に在籍する外国人児童生徒等への支援(通訳等を行う外国人児童生徒支援員を派遣)
- ・ 高等学校における通級指導の実施

伊勢まなび高等学校
平成31年から
通級指導実施



◇特別支援学校メディカル・サポート事業

[予算額 6,685千円]

○医療的ケアを安全に実施するための体制を整備

- ・ 実施校：特別支援学校9校
- ・ 常勤講師(看護師免許有)および教員が連携した医療的ケアの実施
- ・ 医療的ケアに係る知識・技能を習得するための基本研修および実地研修の実施
- ・ 医師等と連携した校内支援体制の充実



◇特別支援教育に係る教職員研修

(教職員研修事業の一部(再掲)) [予算額 188千円]

○特別支援教育に係る教職員の専門性の向上

- ・ 経験年数や職種に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の障がいの特性を理解し、その支援方法を学ぶ研修
- ・ 特別支援学級等の新担当教員が特別支援学級経営や障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修

進路希望の実現

◇特別支援学校就労推進事業 [予算額 6,258千円]

○外部人材を活用した支援を実施

- ・ 生徒の適性を把握し、適した職種・業務と支援方法を企業に提案する形の職場開拓(キャリア教育サポーター4名を配置)

○特別支援学校版キャリア教育プログラムに基づく取組の推進

- ・ 職業適性アセスメントの活用を促進
- ・ 技能講習、技能検定を実施(清掃、看護・介助補助業務)

子どもの体力向上

当初予算主要事業 教育委員会 8頁 【予算額 合計 20,105千円】
保健体育課 (224-2973)

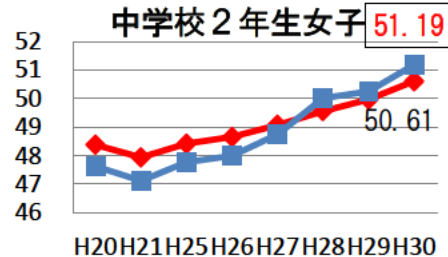
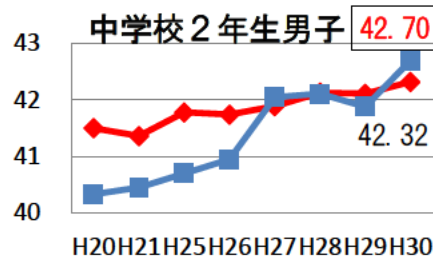
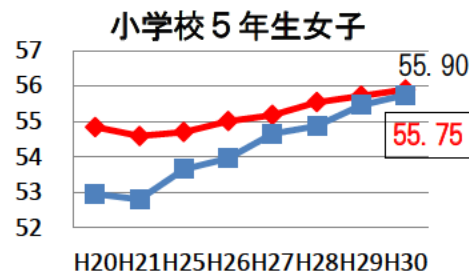
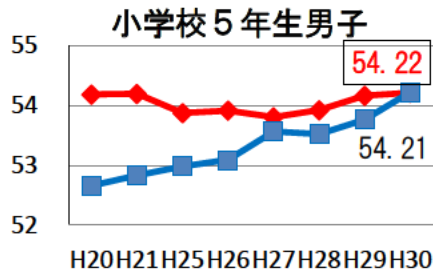
就学前から高等学校まで、子どもの発達段階に応じた運動習慣の定着や生活習慣の改善、子どもたちの状況に応じた各小中学校等の取組を支援することにより子どもの体力向上を図るとともに、専門性を有する運動部活動指導員の配置や運動部活動サポーターの派遣により部活動の取組を支援します。

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

- ・平成20年度からの調査開始以降、小学校男子女子、中学校男子女子ともに、体力合計点が最高値を示した。
- ・小学校男子、中学校男子女子は、全国平均値を上回った。
なお、小学校男子は平成20年度からの調査開始以降初めて、全国平均値を上回った。

区分	小学校5年男子			小学校5年女子			中学校2年男子			中学校2年女子		
	H30年度	H29年度	H28年度	H30年度	H29年度	H28年度	H30年度	H29年度	H28年度	H30年度	H29年度	H28年度
	三重県	全国	三重県	三重県	全国	三重県	三重県	全国	三重県	全国	三重県	
体力合計点※(点)	54.22	54.21	53.76	55.75	55.90	55.46	42.70	42.32	41.88	51.19	50.61	50.25

■ 全国平均を上回る ↑ 平成29年度三重県平均を上回る ※体力合計点 各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点



◇みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業 【予算額 5,273千円】

【元気アップコーディネーターの配置】

- ・各学校における体力向上に向けたP D C Aサイクル（元気アッププランの作成 1学校1運動の取組、結果分析、改善）の確立にかかる支援

【元気アップ研修会による体育授業の充実】

- ・就学前、小・中・高等学校の教員等を対象とした元気アップ研修会を開催

【武道等指導充実・資質向上の支援】

- ・中学校における武道等指導にかかる教員の指導力向上を図るため、安全に配慮した指導の在り方に関する講習会を開催

◇みえ子どもの元気アップ運動部活動充実事業 【予算額 14,832千円】

【運動部活動指導員の配置】

- ・専門性を有し、学校外での活動の引率が可能となる運動部活動指導員について、高等学校（5名）に配置、中学校（21名（11名増員））の配置にかかる市町への支援



【運動部活動サポーターの派遣】

- ・高等学校（46名）および中学校（5名）に専門性を有する指導者を派遣

【運動部活動指導者研修会の開催】

- ・「三重県部活動ガイドライン」の浸透を図るとともに、適切かつ効果的な運動部活動の指導方法等の研修を実施

※青線、枠囲み数値が三重県

誰もが安心できる学び場づくり

当初予算主要事業 教育委員会 1、3、6、9、10頁 【予算額 合計 2,068,665千円】
生徒指導課(224-2332)、研修企画・支援課(226-3516)、小中学校教育課(224-2963)、高校教育課(224-3002)
特別支援教育課(224-2961)、教育総務課(224-3301)、学校経理・施設課(224-2955)

子どもたちが健やかに成長し、安心して生活できる社会をめざし、「三重県いじめ防止条例」に基づき、社会総がかりでいじめの問題の克服に取り組みます。不登校の状況にある子どもたちの支援や、いじめ、暴力行為、貧困などの課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を効果的に配置・派遣するとともに、子どもたちからの相談に対する支援体制の充実を図ります。また、外国人児童生徒が将来、社会で自立できる力を身につけることができるよう、外国人児童生徒の学びを支える体制を充実します。併せて、県立高等学校の屋内運動場等の天井等落下防止対策などの施設整備や防災教育を進め、子どもたちが安心して学べる環境づくりを推進します。

三重県いじめ防止条例に基づく主な取組

(一部新)いじめ対策推進事業 【予算額 17,901千円】

- 専門家との連携による支援
 - ・臨床心理士による児童生徒へのカウンセリング、SOSの出し方についての授業や、教職員へのカウンセリングマインドにかかる研修の実施
 - ・社会福祉士・精神保健福祉士による関係機関と連携した支援
 - ・弁護士によるいじめ予防授業や学校だけでは解決が困難な事案への支援

○主体的な活動の推進

- ・三重県いじめ防止サミットを開催し、児童生徒と三重県いじめ防止応援サポーターの交流を通じたいじめの防止に向けた主体的な活動を推進



○相談体制の構築

- ・いじめ等に関する相談窓口「子どもLINE相談みえ」の開設

スクールカウンセラー等活用事業 【予算額 253,198千円】

- ・スクールカウンセラー（臨床心理士等）を配置
スクールカウンセラーの配置校
小中学校 153全中学校区
高等学校 36校
- ・スクールソーシャルワーカー（社会福祉士等） 11名を配置
社会福祉等の専門的な知識・技術による支援
福祉機関等の関係機関とのネットワークを活用

インターネット社会を生き抜く力の育成事業 【予算額 1,607千円】

- ・ネットパトロールの実施
- ・児童生徒のスマートフォン等の利用に関する知識や理解等の情報モラル教育を推進する「みえネットスキルアップサポート」や、保護者への啓発を目的とする「ネット啓発講座」の実施方法を県のホームページに掲載し、学校での取組を推進

外国人児童生徒教育の推進

多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業

【予算額 26,541千円】

- ・市町における外国人児童生徒の受入れや日本語指導等にかかる取組への支援を拡充
- ・外国人児童生徒巡回相談員を1名増員(12名→13名)し、学校における適応指導や学習支援を実施

外国人生徒キャリアサポート事業 【予算額 4,688千円】

((一部新)未来へつなぐキャリア教育推進事業の一部(再掲))

- ・外国人生徒キャリアサポーターの配置
- ・企業見学会の実施
- ・日本での就職等にかかるセミナーの実施
- ・通訳用タブレットを県立高等学校2校で活用

特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業 【予算額 2,656千円】

((一部新)早期からの一貫した教育支援体制整備事業の一部(再掲))

- ・通訳等を行う外国人児童生徒支援員を派遣

防災教育・防災対策

学校防災推進事業 【予算額 13,467千円】

- ・防災ノートを活用した学習
- ・体験型防災学習等への支援
- ・東日本大震災の被災地での中高生のボランティア活動や交流学習
- ・学校防災リーダー等教職員研修

校舎その他建築費 【予算額 1,748,607千円】

- ・県立高等学校施設における屋内運動場等の天井等落下防止対策(18校39棟)
※平成31年度に全県立学校の全棟の対策工事が完了予定
- ・県立学校普通教室で空調設備が整うよう取り組み、空調未整備の高等学校に、本年夏にレンタルによる臨時対応



県立学校における屋内運動場等の天井等落下防止対策